

戦争法案絶対反対！ 熱く訴えました！！ 道教組・道高教組キャラバンの街頭宣伝に参加

安倍総理は、2520億円もかかることに批判を浴びた国立競技場建設計画の白紙撤回を表明しました。「これで内閣支持率も少しは上がるのでは」という閣僚の声も報道されています。しかし、政府がずさんな計画の責任をとるのは当たり前です。「支持回復を」と言うのなら、憲法違反の戦争法案だって、白紙撤回するべきです！

内閣支持率は急落し、不支持率はついに過半数に達しました。戦争法案反対の声はますます強く、広がりを見せています。18日(土)、19日(日)の二日間、道教組・道高教組の宣伝キャラバンとともに、釧路市内で戦争法案反対の街頭宣伝をしました。

18日(土)の昭和ジャスコ前宣伝には、全釧路教組から家族も含め10名が参加。3名がマイクを持って訴えました。車で前を通りかかった先生もいました。

19日(日)の釧路町ポスフル前宣伝は、全釧路教組から5名が参加、そして、全員がマイクを持って訴えました。母親の視点から、スポーツを愛する立場から、標茶町の原水禁大会代表派遣の取り組みと関わらせて、特攻隊員だった父親を思い起こしながら、それぞれの先生の思いがこもった、熱い訴えでした。

道教組・道高教組の先生方は、18日夜の交流会の後、会館に宿泊。宣伝に参加できないからと差し入れを持ってきてくれた先生もいました。

組合員の力って、すごいですね。感動しました！勇気がわいてきました!!参院での審議はまだまだ続きます。国立競技場と同様に、世論の力で撤回させることができます。今行動せずにいつ行動するのか！の思いで、これからもできる取り組みをがんばっていきましょう。



18日(土)昭和ジャスコ前宣伝



19日(日)釧路町ポスフル前宣伝

管内各地で抗議の声が上がっています

本会議で採決が強行された16日(木)は、釧路駅前で緊急集会が開かれ、150人もの人が参加して強行採決への抗議の声を上げました。組合員も多数参加しています。

18日(土)午後1時には、「アベ政治を許さない」のメッセージを掲げようという呼びかけに呼応し、各地で集会が開かれました。釧路駅前では70名が参加。集会で初めてマイクを持ったという先生も、熱く訴えました。厚岸、白糠の集会にも、それぞれ組合員が参加しています。

厚岸の集会は、毎週土曜午後1時に集会を継続することも決まりました。厚岸、浜中方面の先生は山崎土建前へ。市内の先生は駅前へ。廃案まで、訴え続けましょう！



であるとおるで

谷川俊太郎

であるはであるでなかろうか
であるがでないであるならば
でないはであるになるだろう
でないがであるでないならば
であるはでないでなかろうし
でないであろうがなかろうが
であるはであるであるだろう
あるではあるでうろかなか
あるでがでないあなばるら
いなはであるにでうるだろな
ないでがであるでないならば
はあるででないでなろうしか
いなでであろうかながろう
であるあであるあだろうる

▼「であるとあるで」(谷川俊太郎)
～国民の声に耳を傾け、意味のある議論を！

国会での首相の答弁を見ていて、この詩を思い起こしました。前連は何か書いてあるか分かりますが、後連は意味が分かりません。前連の文字をバラバラに並べ替えた無意味なものです。前連は意味があり、後連は無意味という対比になっています。

しかし、よく考えると、前連も後連も同じです。前連の結論「であるはであるであるだろう」は全くもって当たり前のことであり、その前の「でないであろうがなかろうが」はきわめて乱暴な論理展開です。

つまり、前連も、意味のあることは何一つ言っていない、無意味な文章であるという点で、後連と同じです。この詩は、意味の無いことをあれこれ理屈立てて意味があるように見せかけている無意味な主張について、皮肉を込めて笑い飛ばす、そういう意味を持った詩であると思うのです。

国会での答弁も、同じように感じます。戦争法案の違憲性についてまるで明瞭な答弁ができないまま「総合的に判断」という言葉をひたすらくり返し、「我々の法律の説明は全く正しいと思いますよ。私は総理大臣なんですから」と国会で言うてしまう乱暴な論理展開。そして「残念ながらまだ国民の理解がすすんでいる状況ではない」と答弁しながらも強行採決を行ってしまう態度は、この詩と重なって見えます。空虚な議論を113時間積み重ねたとしても、議論が尽くされたとは到底言えません。このような国会議論の軽視、数を頼みにした不誠実さを認めることはできません。民主主義の危機です。

子どもたちの平和な未来と民主主義を守るために、安倍政権のこうした姿勢に全力で抗議し、「教え子を再び戦場に送らない」のスローガンの意味を改めてかみしめながら、今後も運動を広げていきましょう！